

ワークショップの開催について

ケイ素化学協会
会長 時任 宣博

化学物質の PBT (Persistent, Bioaccumulative and Toxic) 評価についての

最新の研究動向に関するワークショップ

ー環状シロキサンの環境運命と蓄積性、安全性評価を中心としてー

ワークショップ概要

主催 ケイ素化学協会

協賛 日本化学会、International Council of Chemical Associations (ICCA)
一般社団法人 日本化学工業協会、American Chemical Council、
シリコン工業会

会期 8月29日(火) 9時～17時

会場 大手町ファーストスクエア カンファレンス

(大手町ファーストスクエアイースト2F Room A)

http://www.1ofsc.jp/common/pdf/access_map.pdf

東京メトロ 千代田線/東西線/半蔵門線/丸ノ内線 都営地下鉄 三田線
「大手町駅」 C8/C11/C12 出口から直結

懇親会 17:00-19:00 大手町ファーストスクエア カンファレンス Room D

同時通訳 日/英の同時通訳

(プレゼンテーションは英語と日本語で行われますが、通訳を通して日本語と英語での聴講が可能です)

参加対象者 化学物質のリスク評価の専門家、有機ケイ素化学分野の研究者、環境化学関連の研究者、所管官庁関係者、シリコン・シロキサン化合物を研究・製造している産業界の研究技術者、その他今回テーマに造詣の深い専門家の方々、シリコンを使用しているユーザーの方々など。

(開催趣旨)

近年、新規化学製品が年毎に開発され、様々な化学物質が各産業で使用され、産業の発展に大きく貢献している。一方、化学分析技術が飛躍的に発展し、希薄な濃度の化学物質の検

出・同定が可能になってきた。こうした背景の中、さまざまな化学物質の地球環境への影響に関心が高まっている。このワークショップでは、特に揮発性環状メチルシロキサン(cVMS)に焦点を置き、cVMSの環境運命と蓄積性、安全性評価について、この分野での国内外の研究者から最新の研究動向を発表してもらい、科学的見地から理解を深めてゆくことを目的としている。

参加費 無料

懇親会費 1,000 円

参加申し込み方法 メールあるいはファクシミリで申込みください。

宛 先 ファクシミリ： 0276-31-3061

E-メール： makoto.matsumoto@momentive.com

以下の項目を記入の上お申込み下さいますようお願い致します。

氏名

所属団体（大学名、会社名など）

電話番号

Eメール

懇親会出欠席

参加申し込み締め切り 8月 17日(木)

定員になりしだい締め切りとなりますのでご了承願います。

なお服装コードはビジネスカジュアル(ネクタイ不要)とします。

昼食はお弁当を用意致します。

ワークショップ プログラム
(日英 同時通訳付き)

スケジュール	内容	講演者
9:00	会場受付開始	
9:30-9:40	開会の挨拶	宝田 充弘 ケイ素化学協会 副会長
9:40-10:00	Si Chemistry	Ralf Maecker Chair CES-Silicones Europe Momentive Performance Materials
10:00-10:30	Science of PBT Assessment Overview of Safety Assessment of cVMS	Dr. Kathleen Plotzke ICCA-LRI Chair, Dow Chemical, U.S.A.
10:30-11:00	Dietary exposure bioaccumulation fish test to evaluate bioaccumulation potential of chemical -Current progress in Japan-	橋爪 直樹 一般財団法人 化学物質評価研究機構
11:00-11:30	Environmental Monitoring of cVMS in Japan	堀井 勇一博士 埼玉県環境科学国際セン ター
11:30-11:40	Break (休憩)	
11:40-12:30	Science based Weight of Evidence -Experience in Canada Board of Review	Dr. Keith Solomon University of Guelph
12:30-13:30	Lunch Break Poster Session (Room D)	
13:30-14:15	Ecological Risk Assessment of D4 and D5	Dr. Ellen Mihaich Duke University Environmental and Regulatory Resources
14:15-15:00	Pharmacokinetic behavior of D4 and D5	Dr. Kathleen Plotzke

	in fish and mammals – Why D4 and D5 do not bioaccumulate	ICCA-LRI Chair, Dow Chemical, U.S.A.
15:00-16:00	Human Health Assessment for D4 and D5	Dr. Wolfgang Dekant University of Würzburg
16:00-16:15	Break (休憩)	
16:15-16:55	Round Table -Wrap-up	発表者 (Presenters)
16:55-17:00	Closing Comment	
17:00-19:00	懇親会	

申込書

PBT ワークショップ実行委員会

ファクシミリ： 0276-31-3061

Eメール： makoto.matsumoto@momentive.com

ご参加者氏名：

ふりがな：

所属団体（大学名、会社名など）：

電話番号：

Eメール：

懇親会出欠席